



里親制度は家庭で暮らすことが困難な子どもを法に基づき家庭に迎え入れ、愛情を注ぎ養育する制度です。親会が母体となって、平成 22 年 10 月に「里親による里親のための支援」となる NPO 法人「静岡市里親家庭支援センター」を設立。令和 5 年に認定 NPO 法人となり、翌年 4 月に県内ではじめて「里親支援センター」として認定を受け、新たにスタートしました。

法人主催「里親サロン」を訪問

支援センターでは、里親制度についての啓発、養育力向上を目的とした研修、養育についての相談や支援、の 3 本柱を中心に、関係機関と連携して里親のサポートをしています。

今回は、あさはた緑地センターハウスで開催された、里親同士が近況や心配ごとなどを話し合う「里親サロン」を訪問し、お話をうかがってきました。



この日は、支援員等含め 20 名弱の参加でした。自己紹介を交えて現在の状況報告、グループに分かれて個々の心配事などを話しました。周りの参加者や支援員からも意見やアドバイスをもらい、活発に、そしてなごやかに話し合いが行われました。中には、子どもを受け入れる前の里親さんや、子ども連れで参加している里親さんもいました

「養育に困難が生じた時、誰に相談しますか?」(静岡市アンケート)

「里親仲間」

「里親支援センター」

「配偶者」が上位の回答でした。

三者の存在と連携が養育の大きな支えとなっていることがわかります。

一般家庭で子どもを養育する里親家庭の良さは、家庭のあたたかさを実感できるということ。

『里親支援センター』の活動を通して、里親制度が広く知られ、協力してくれる人が増えることを期待します。

坂本

